



セキュリティのトランスフォーメーション

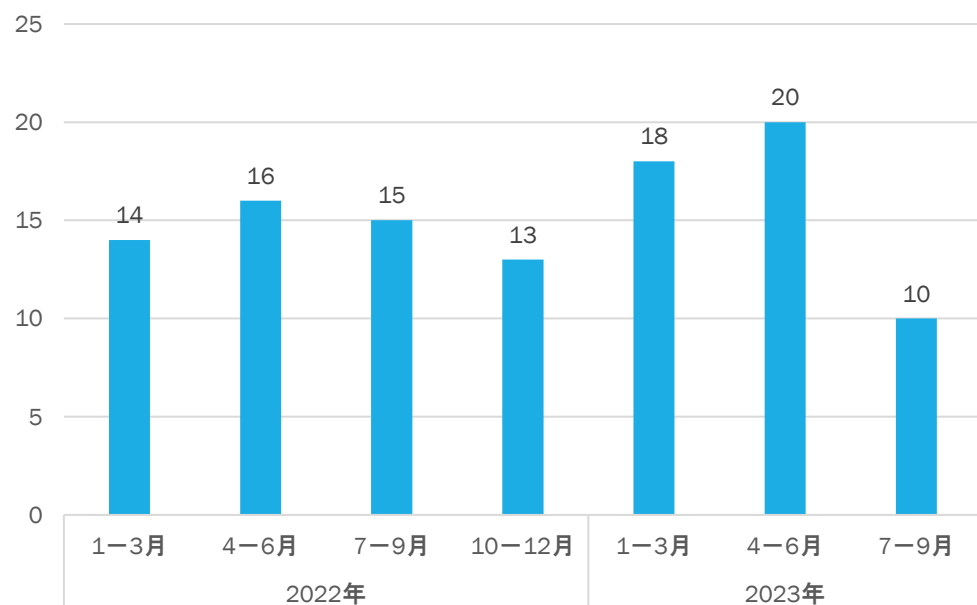
株式会社クロスポイントソリューション

マネージドセキュリティサービス事業部 斎数真人

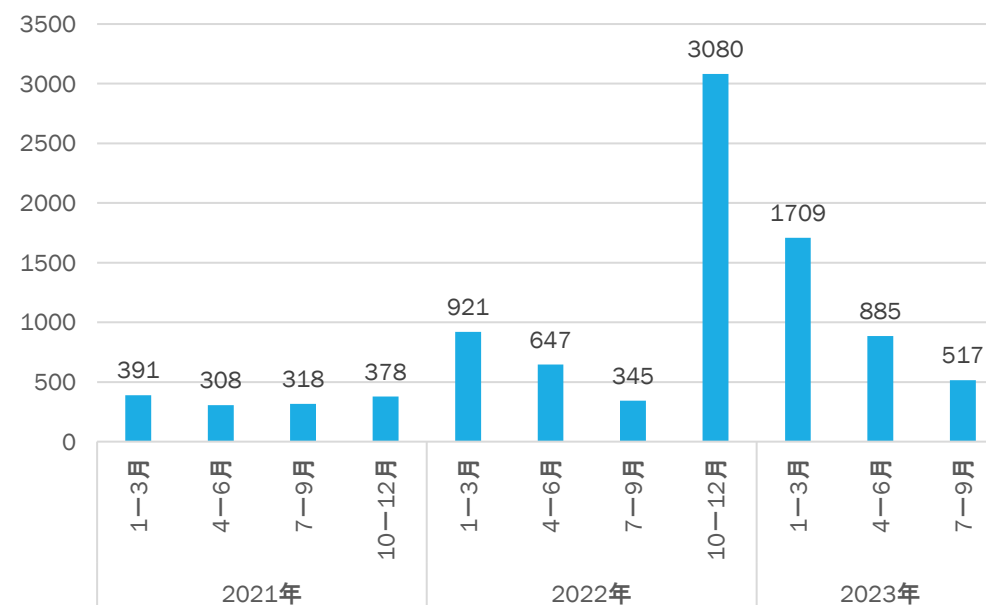
セキュリティの脅威について

- トrendマイクロ社の調査データによると**ランサムウェアの被害については減少傾向**にあるとされています。ただ、ランサムウェアの**検出台数は2021年に比べ高い水準**となっており、予断を許しません。

国内組織が公表したランサムウェア被害件数推移



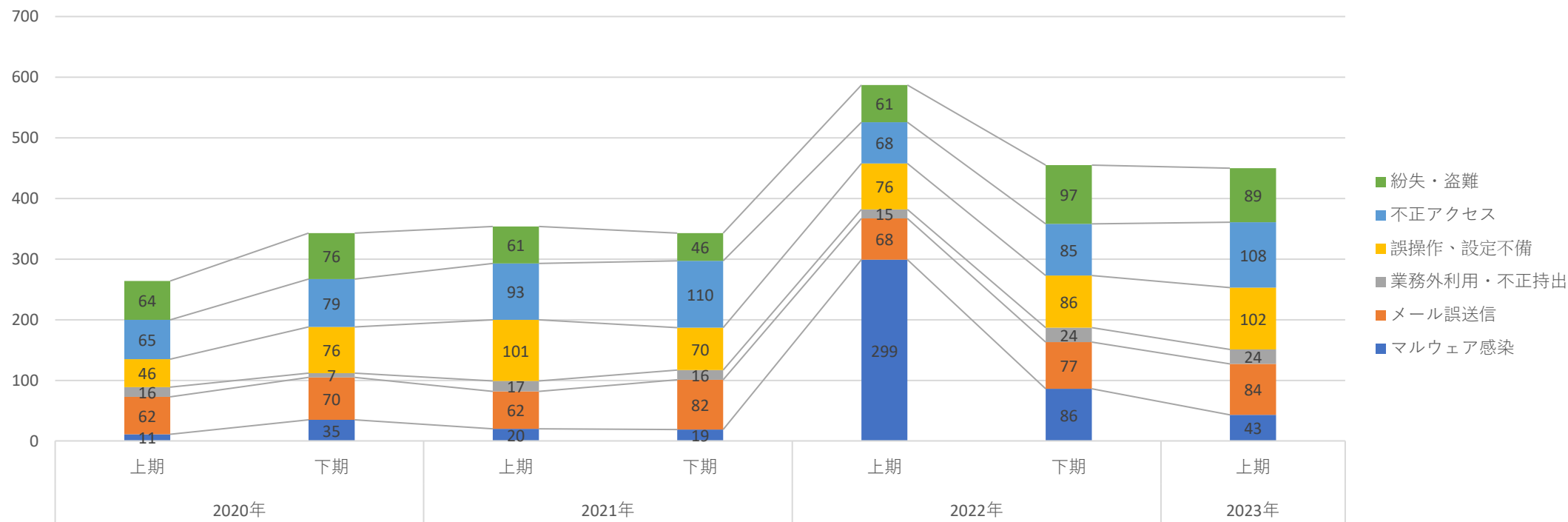
国内法人組織におけるランサムウェア検出台数推移



セキュリティの脅威について

- 2023年も様々な業種・業界でセキュリティ事故が発生してしまいました。2023年はEmotetの活動が下火になり、ランサムウェアの感染は減少傾向にあります。しかし、それ以外の事故については高止まりの状況が続いています。

国内セキュリティインシデント



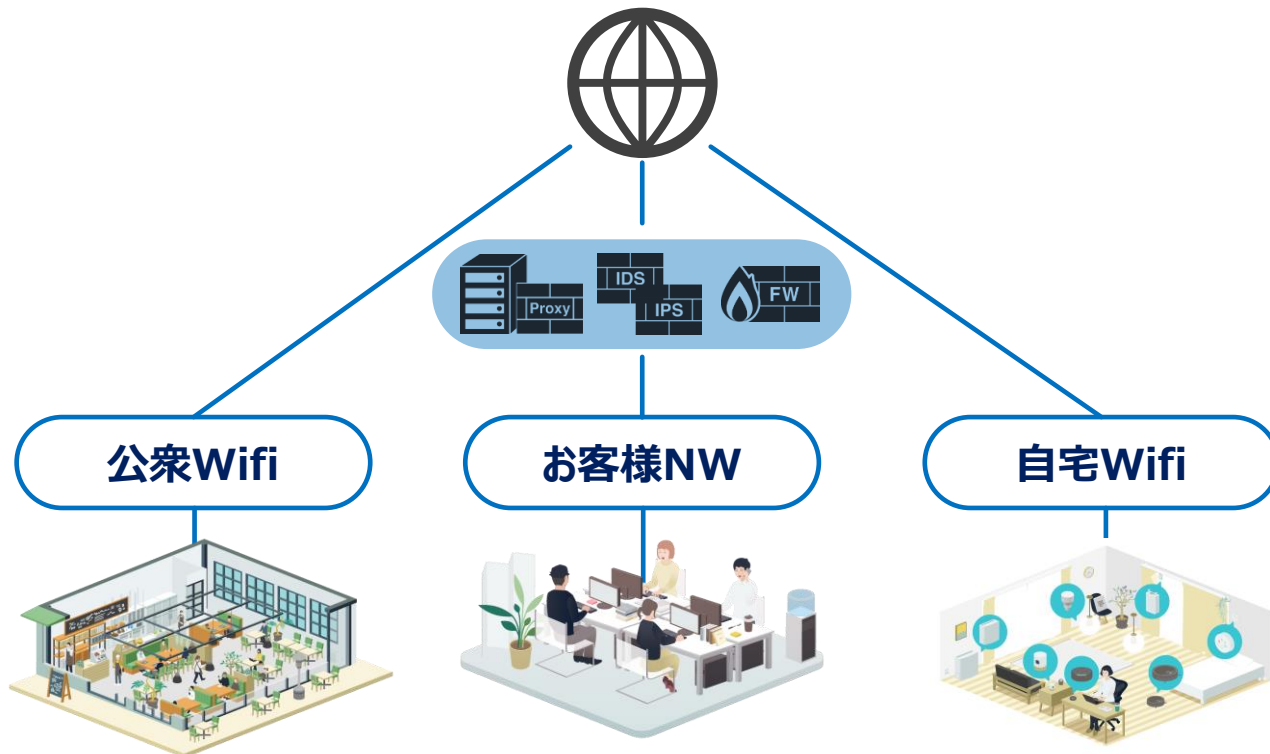
インシデントの事例について

- セキュリティインシデントの事例を見てみましょう。DXが推進されデータ化が進む中、セキュリティ事故は重大な事故に直結してしまいます。
- 本日はこうしたセキュリティ脅威への対応についてご紹介したいと思います。

| 業種 | 概要 | 被害 |
|-------|---|-----------------|
| 製造業 | 車載情報サービスの利用者情報が漏洩 | 215万人分の情報漏洩 |
| ECサイト | ECサイトが不正アクセスの被害に遭いに個人情報漏洩 | 275万件の個人情報漏洩 |
| 医療 | 委託先の企業を經由し病院システムに侵入、電子カルテデータが暗合化され利用不能になった | 長期間の業務停止 |
| 公立高校 | 自宅で使っていた私用パソコンが遠隔操作され、保存した生徒の個人情報が流出 | 学生の個人情報23件が流出 |
| 地方自治体 | USBメモリーを持ち出したまま泥酔し、かばんごと紛失 | 46万人の個人情報紛失 |
| 医療 | フィッシングにより個人で利用していたクラウドサービスのID情報を流出。クラウド上には業務情報が保存されていた。 | ログイン情報、業務データの流出 |

テレワーク環境における更なる課題について

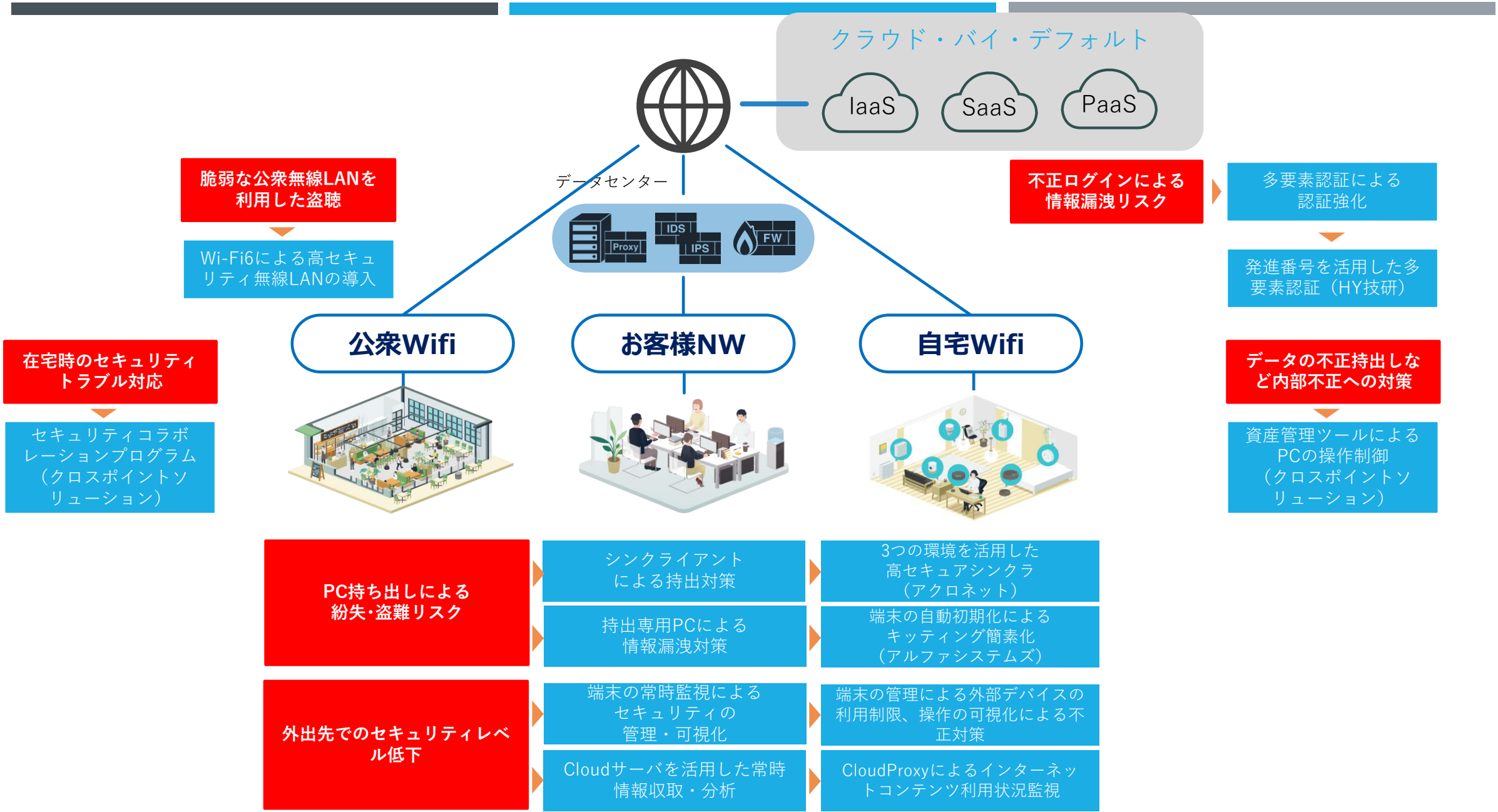
- テレワークの導入により、従業員が様々な場所で働くことになると、ITサポートやインシデント対応が困難になる課題があります。
- 今は、何かあればシステム担当者が駆けつけてくれますが、テレワークになるとそうは行きません。さらに働き方が柔軟になり労働時間までバラバラになるとさらに対応は困難になります。



ネットワーク等の環境が異なるため、トラブル時の対応が困難



業務時間がバラバラになるといつ電話が鳴るか不安

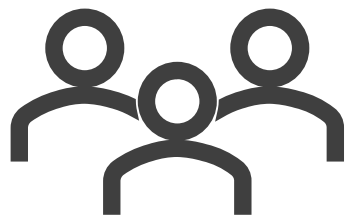




CP-SOLセキュリティ コラボレーションプログラム のご紹介

CP-SOLセキュリティコラボレーションプログラムのご紹介

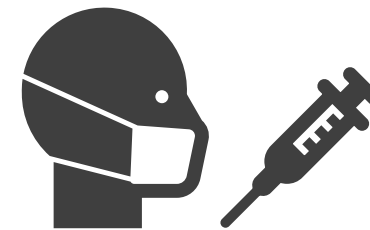
お客様にちょうどいいセキュリティ対策をご提供します



セキュリティの知識を
持ったスタッフによる
サポートサービス



脅威を可視化する
レポートサービス



可視化された
脅威への対応サービス

基本サービス セキュリティサポートデスク

■ サービス概要

セキュリティに関することであれば、何でも、何度でもお気軽にご相談下さい。専門のスタッフが分かりやすく解決のお手伝いをします。基本サービスに含まれている「セキュリティ診断」の結果に関するお問合せもセキュリティサービスデスクがお答えします。

■ サービスイメージ



コンピュータウィルスに感染？



見たことのないセキュリティのエラーが！



セキュリティ診断の結果が良く分からない

「不安」



退職した従業員が機密情報を持ち出したかも？



パソコンの動作が急に遅くなった...



社員が業務中に仕事に関係ないサイトを閲覧しているようだ

「困った」



広告が大量に表示されて消えない

セキュリティに関する「困った」、「不安」、「知りたい」があったときは、お気軽に電話・メールでご相談ください。

セキュリティサービスデスク



専用フリーダイヤル、専用メールアドレス

基本サービス セキュリティ診断 (PC)

■ サービス概要

基本サービスに同梱されたClient (5端末分同梱しています) をインストールいただくと、Clientが端末の操作ログやOS/ソフトウェアの情報を収集します。収集した情報をセキュリティの専門家が分析・診断し、セキュリティ診断(PC)レポートを毎月お送りします。セキュリティ診断(PC)レポートの内容でご質問やご不明の点があれば、セキュリティサービスデスクにお問合せください。

■ サービスイメージ

※ 本ClientはWindows PCのみ対応しております。



基本サービスに同梱したClientをインストール



Clientが分析に必要な情報を収集



セキュリティの専門家が収集した情報を分析し、診断レポートを作成

フィッシングサイトなどの危険なサイトにアクセスしたのか?ということも分かります

セキュリティ健康診断票【セキュリティ診断(PC)レポート】

| 診断項目 | 結果 | 所見 |
|---|----|---|
| 【情報漏えいにつながる可能性】 外部記憶媒体 (USBメモリ、スマートフォンなど) の接続 | A | 管理対象端末「15」台の内、USBメモリ等の「 リムーバブルディスク(記憶媒体) 」の接続、iPhone・iPad等の「 ポータブルデバイス(記憶媒体) 」の接続はありませんでした。 |
| 【Webを媒介したセキュリティ事故につながる可能性】 不正・詐欺サイト、業務外サイトなどの閲覧 | C | 管理対象端末「15」台の内、ウイルス感染のリスクを伴う悪意のあるWebサイトへの接続、または業務上関係ないと思われるWebサイトへの接続が、以下の通り検知されました。 セキュリティ: 「23」件、不正: 「19」件、アダルト・フェイク: 「36」件、過剰な表現(暴力組織・カルトなど): 「8」件 悪意のあるWebサイトへの接続を介したウイルスへの感染リスクや、業務上関係がないと思われるWebサイトへの接続には注意が必要です。Webアクセス制御(フィルタリング)の導入や、企業内での利用規定などのルール導入を推奨します。 |
| 【セキュリティホールを狙ったセキュリティ事故につながる可能性】 Windows OSアップデートの未適用 | D | 管理対象端末「15」台の内、Windowsの緊急パッチ「 Critical 」が適用されていない端末が「8」台あります。 また、Windowsの重要パッチ「 Important 」が適用されていない端末が「12」台あります。 該当端末に対してリバイバー攻撃が行われた場合、該当端末を踏み台に、企業全体・関連取引先に対するリスクが波及する可能性が高くなるため、早急にパッチ適用されることを推奨します。 |
| 【セキュリティホールを狙ったセキュリティ事故につながる可能性】 ソフトウェアアップデート未適用 | C | 管理対象端末「15」台の内、重要性の高いバージョンアップ「 High 」が適用されていない端末が「7」台あります。 緊急性が高いバージョンアップ「 Critical 」はありませんでしたが、脆弱性レベルの推移(更に新しいバージョンアップ情報)には注視が必要です。該当端末に対して、可能な範囲でバージョンアップを適用されることを推奨します。 |
| 【不正アクセスの可能性、許可のない時間帯外労働の可能性】 業務時間外(土日祝・深夜帯)でのPC利用 | B | 管理対象端末「15」台の内、平日深夜帯(22:00~5:00)にログインした端末が「7」台あります。 また、土日祝日にログインした端末が「4」台あります。 業務時間外での端末利用や自宅に端末を持ち帰ってのリモート利用は、セキュリティ上のリスクを伴うため、端末やネットワークに関するセキュリティ対策とともに、働き方改革や労働上の観点からも管理されることを推奨します。 |

結果の見方
A: 異常なし
B: 経過観察
C: 要精密検査
D: 要治療

分析結果を「A:異常なし」、「B:経過観察」、「C:要精密検査」、「D:要治療」の四段階で評価

基本サービス セキュリティ診断(企業)

■ サービス概要

一年に1回、企業の情報漏えいリスクを診断します。数問のアンケートにお答えいただき、回答いただいた内容を集計・分析して、企業が情報漏えいを発生する可能性をパーセンテージで表し、「情報漏えい発生リスク」をA～Eの5段階で評価したセキュリティ診断(企業)レポートをお送りします。セキュリティ診断(企業)レポートの内容でご質問やご不明の点があれば、セキュリティサービスデスクにお問合せください。

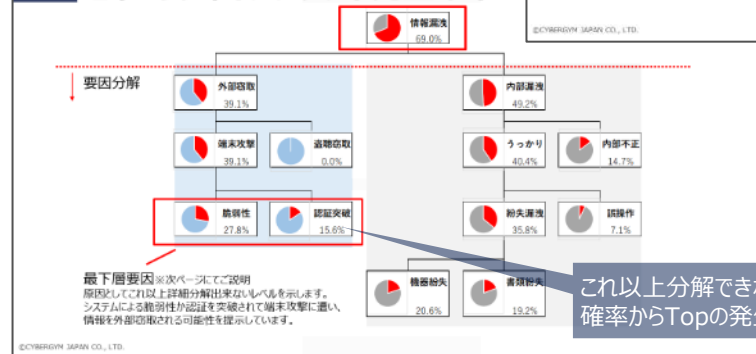
■ サービスイメージ



10問程度のアンケートにお答えいただけます

最も起きているいけない不具合事象(情報漏えい)をTopに樹形図として分析

セキュリティインシデント発生確率



リスクレベルと今後の推奨対策

Sample

2022/11/9 時点

| 貴社インシデント発生確率 | 69.0% | リスクレベル | B |
|--------------|--------|-------------------------------------|---|
| 発生確率(%) | リスクレベル | 推奨対策 | |
| 80~100 | A | 重大な被害が発生する可能性が極めて高く、早期に脆弱性の特定と対策が必要 | |
| 60~79 | B | 重大な被害が発生する可能性が高く、早急な脆弱性の特定と対策が必要 | |
| 40~59 | C | 重大な被害がいつ発生してもおかしくない、脆弱性の特定と見直し検討が必要 | |
| 20~39 | D | 危険度は低いですが、将来的な危険性を認識するための脆弱性の特定を推奨 | |
| 0~19 | E | 危険度は低い、現状問題が生じる可能性は低い。効果維持の継続が必要 | |

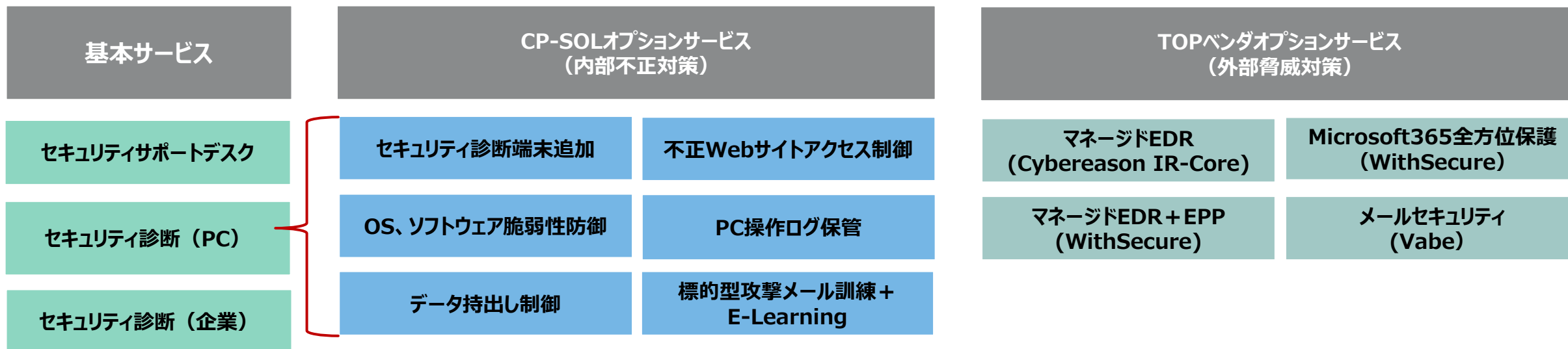
セキュリティインシデントはいつ、どのような状況で発生するかわかりません。どう備えていくべきか、何をすべきかがあるのか現状の把握を正確に行い、優先順位を明確化し、効果的な対策を推すべきであると考ます。

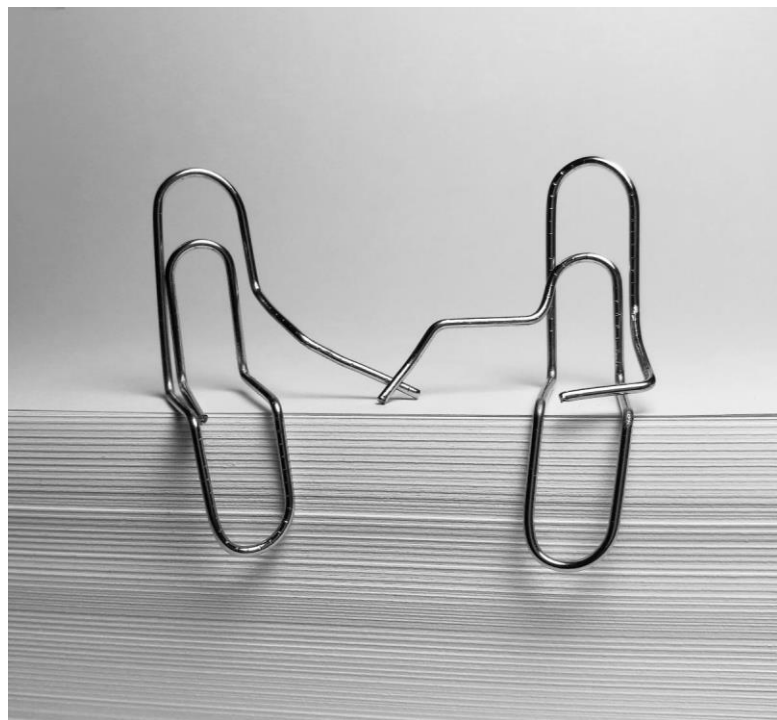
分析結果を踏まえて、推奨対策(まず何かやらねば良いか)をレポートします

これ以上分解できない「最下層要因」の発生確率からTopの発生確率を算出しています

CP-SOLセキュリティコラボレーションプログラムのご紹介

お客様が必要な対策を選択して導入できます。





ご清聴ありがとうございました。

株式会社クロスポイントソリューション

(03) 6280-3163

mss.div@cp-sol.co.jp

<https://cp-sol.co.jp/>